

223のゆっく

令和3年月10月1日

綾南幼稚園

夏休みが明けて、2学期が始まりました。1学期は子どもたちが新しい環境に慣れ、友達や先生に親しみをもって安心して過ごせることを大切に保育を進めてきました。これは大人も同じですが、外の世界に踏み出していくためには安心できる居場所が必要です。子どもたちにとって、幼稚園に入るまではそれがお父さんやお母さんでした。言い方を変えれば、ご家庭で保護者の皆様が子どもたちに愛情を注ぎ、温かく見守ってくださったおかげで、子どもたちは幼稚園というちょっとドキドキする環境に飛び込んでいくことができたのでしょう。

そして、1学期を通して子どもたちの安心ゾーンは担任や友達、そしてクラス自体へとじわじわと広がってきています。ここから子どもたちは自分自身の興味や関心をもとに様々なことへとチャレンジしていくでしょう。その中で上手くいかないことがあって悩んだり、友達と気持ちのすれ違いがあったり。こうしたドキドキを経験し、乗り越え、さらに安心ゾーンを広げていくことを2学期は大切にしていきたいです。今回は、子どもたちのちょっとした興味や関心から遊びが広がっていくエピソードをいくつかご紹介します。

1人の“好き”から みんなの“楽しい!”へ

電車が好きな男の子。長〜い線路を作って遊び始めました。

線路づくりをすすんで手伝ってくれる子も出てきました。遊びのアイデアが膨らんでいきます。

今直してあげるから待ってな!

年長が持ってきた電車がとっても魅力的に見えたのでしょう。物欲しそうにしている年少さんの視線に気づいた年長さんが快く貸してくれました。年長の手つきからブロックの組み合わせ方も学んでいます。師弟関係のようです。



おれたちもこの線路走らせていい!?



京葉線で〜す

翌日、保育者がクラスに線路を置いておくと、他の子も一緒になって遊び始めました。



線路の噂を聞きつけた電車好きの年長さんがやってきます。自慢のブロック電車を持ってきてくれました。



1人の“電車が好き”という気持ちから始まった遊び。そこに他の子どもたちが参加することで遊びの輪が広がっていききました。幼稚園では、こういった子どもの興味関心が重なり合って、豊かな学びへと繋がる場合があります。

自然を使った遊びと 保育者の援助

何やら雑草を抜いて集めている2人組がいます。一体、何が始まるのかな!?

次の日、2人が雑草を野菜に見立てて遊んでいたのので、保育者はさらにイメージが広がるように八百屋風のザルを用意しました。

ネギと〜 サラダがあります 10えんです

他にも自然を使った遊びがたくさん。何かに見立てたり、育てようとしてみたり。関わり方は多様です。

ダンゴムシさん いっぱい食べてね



翌日



集めた雑草を洗い始めました。水が濁ってくると大はしゃぎ。「おお! 野菜になった!!」と嬉しそうでしたが、残念ながら今日はここでお片付け。

いらっしゃいませ〜! ごちゅうもんは?

すると、保育者の援助がきっかけになり、八百屋さんごっこが始まりました。草花や土、水などの自然物は最高の遊び道具の1つです。



これはね、水耕栽培なんだよ



雑草を育ててみる

マンホールをめぐる 探求の旅

園庭の側溝に詰まった砂をかき出す遊びをしていた流れで、マンホールに気が付いた子ども達。保育者立ち合いのもと、開けてみることにしました。

なんかマリオみたい!!

そうだ! 水を入れてみればいいんじゃない?

マンホール同士がつながっているのではないかと考えた男の子が、どうしたらそのことが分かるかを一生懸命考えて、水を入れることにしました。



なにやってるの〜?



おえっ! くさっ!!



あっという間にたくさんの子が集まります。

ふだんあまり見ることのないマンホールの中は、虫がいたり、横穴があったりと怪しい魅力にあふれています。園庭にあるマンホールを片っ端から開けていきました。



マンホールを開けていくうちに、他とは違うフタがあることに気が付きます。これも開けてみました。クサイはずです。汚水ですから(笑)



ほら! やっぱりつながってる。

右から左のマンホールに水が流れていくことを目で確認できました。予想して、工夫して、試して、分かる。この流れが学びへと繋がります。



運動会の取り組み



運動会に向けて、様々な活動に取り組んでいる子どもたち。綾南幼稚園では、行事は特別なものではなく、子どもたちの生活の延長線上にあるものと捉え、行事の当日だけではなく、当日に至るまでの道のりも大切にしています。大人が決めたことをただやらせるのではなく、子どもたちと一緒に運動会を作り上げていくこと。難しい踊りや課題に挑戦させるのではなく子ども達が興味を持って取り組める内容を考え、当日自信を持って表現できること。こういったことを大切にしていきたいと考えています。そんな子どもたちの様子を写真を通してお伝えします。

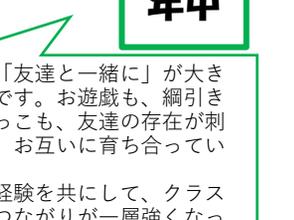
年少

年少組は、初めての運動会です。ですので「運動会ってなに？」からスタート。どの競技も楽しんで参加できることは全ての学年共通ですが、年少は特にそこが大事です。障害物競走で組み立てるキャラクターはドキドキのくじ引きで決めました。先生や友達と一緒に楽しく身体を動かして、元気いっぱい頑張ってもらいたいです。



年中

年中は「友達と一緒に」が大きなテーマです。お遊戯も、綱引きも、かけっこも、友達との存在が刺激になり、お互いに育ち合っています。様々な経験を共にして、クラスとしてのつながりが一層強くなっていくことでしょう。



年長

年長は運動会の経験が積み重ねられていますし、友達との関係も深まりつつあります。そのため、先生に支えられながら、自分達で考え、話し合い、運動会の活動を進めてきました。マスをゲームもリレーも年長ならではの競技です。歌の歌詞を全部覚えたり、友達と声を掛け合って、自主的に練習を始めたりと、年長らしい頼もしい姿が見られるようになってきました。

